

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和6年3月27日

事業所名：あしび園

職員数：4名 回収数：4名 回収率：100%

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1	・現在は仮事業所なので、人数や活動内容によっては、地域の交流館を借りて活動している。	・法令上必要とされる空間となっておりますが、活動によっては手狭に感じられることがあります。来年度は、十分な空間を確保して実施します。
	② 職員の配置数は適切であるか	4	0		・昨年度と同様、法令で必要とされる配置数に加え、パート職員1名を配置しています。次年度は、定員が増えるのに伴い、正規職員および臨時職員等を増やします。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	4	・仮事業所のため、事業所内の活動場所は一室である。また、園庭もなく、遊びも限られるが、安全に使用できるよう工夫している。	・来年度からは、バリアフリーであることに加え、わかりやすい動線で生活できると思います。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1	・毎日の受け入れに合わせて、清潔を保っている。拭き掃除やアルコール消毒は入念に行った。また、限られた空間を工夫して使用している	・来年度は、新築の園舎で安全かつ快適に過ごしていただけるかと思っています。引き続き、清潔と安全に努めます
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	・少しの時間でも、できるだけ活動の振り返りをしている。また、児童や保護者について情報を共有するようにしている。	・引き続き、会議の際に限らず、積極的かつ密に情報交換をし、その共有に努めます。お互いに意見を出し合いながら、よりよいものをつくります。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	・保護者からの指摘を真摯に受け止め、安心して利用していただけるように努めている。	・評価表を用いて保護者への意向の把握を行ない改善に繋げていきます。まずは、なんでも話していただけるよう信頼関係の構築に努めます
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0		・自己評価結果を園のHPにて公開しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3		・保護者及び事業所内の2者評価をとっています。第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが、必要に応じて実施を検討していきます

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	・オンラインだけでなく、対面での研修会にも参加している	・職種や経験に応じた研修に派遣し専門性を高めます。引き続き、研修の形態によらず、学ぶ機会を保障していきます
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	・保護者との信頼関係を築きながら、生活全般を通して子ども理解を深めている。個々のケースについて、職員間で情報共有し、必要に応じてケース会議を設けている。懇談等でアセスメントを行ない、保護者の思いを聴取し計画に反映している。	・新年度に個別支援計画を作成し、中間でモニタリングを実施しています。保護者から聞き取ったことを反映させるよう努めます。
適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	・【療育アセスメント】で子どもの状態像や変化を把握できるようにしている	・職員間で情報共有をして、多面的に子どもの姿を捉えつつ、計画を作成しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	0	4	・ガイドラインは、事業所内に設置しており、誰でもいつでも手に取れるようになっていますが、その周知と活用の仕方は底できていないと感じます。	・おしゃべり会等の中で、ガイドラインにも触れながら活動の意図を伝えたり、保護者の意見や感想も聞いたりしながら、子どもの姿に発達のな意味づけをしていくことに努めます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	・計画に沿いながら、月案で活動内容を具体化している	・発達検査、子どもたちの評価、保護者との懇談などを通して、個別支援計画の作成をしています。  ・より良い支援ができるように、また、計画だけに終わらないように、日々職員間で 検討を重ねていきます
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	・職員会議やクラス会議で検討している。	・個々の課題を踏まえつつ、集団で楽しめる活動を設定しています。活動の場や内容を共有していても、個々の楽しみどころや手応えは違うという視点で、必要に応じて個別に支援を行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	・障害や特性に応じた支援や子どもの姿から活動内容を検討している。同じ活動でも、積み重ねの中で展開していく。	・活動の大きなくりは一カ月単位としていますが、繰り返しを大切にしつつも、少しずつ展開し、子どもたちが期待感をもって、意欲的に取り組めることを意図しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4	0		・朝礼で、活動内容や職員体制について確認、終礼で振り返り、職員間で情報共有を行なっています。また、会議で、クラス運営や子どもの評価、支援の在り方等について検討し、充実した支援に繋がるよう努めています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	・朝礼時に職員体制を把握し、活動内容をクラス別に確認。日課の流れに沿い、職員の動きやその日のリーダー等役割を決めている	

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	・午前、午後のクラスが終わった時点で、できるだけ活道の振り返りや保護者と話したことの共有をしている	・子どもや保護者に対して、できるだけ一貫した対応ができるよう、職員間の情報の共有に努めます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	・活動記録、個人記録を日々行っている。記録に残し、経過が分かるようにしている。 ・記録を取ることで見直しにもなっている ・朝礼や終礼で報告し共有している	・日々子どもたちの様子や、状況などを綿密に報告し合い、共有していきます ・子どもたちへの対応、関わり、評価などについても、定期的な会議を設定し、支援内容や取り組みについて意見を出し合い検討していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	・半年に一回実施している。	・モニタリングに際しては、保護者の生活の様子を記載してもらうとともに、園での様子を確認し合いながら、課題の整理をしています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	3		・現状では、利用契約児童の大半はセルフプランです。作成前に児童発達支援管理責任者と協議して課題や目標の確認をしています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	0		・こども発達支援センターや障がい福祉課、ネウボラ課等と必要に応じて情報共有や相談、報告を行ない適切な支援を行なえるよう努めています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	4		・今後も保健師さんとの連携を密にしながら、必要があれば医療機関なども連携をとっていくようにします。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	4		・協力医療機関にも、その都度連携をとり緊急時に対応できるようにしていきます
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	・移行後も、集団適応の難しさや生活の困り感が出た場合は、ケア会議を行ない、対応について検討する。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	3	・子どもの特性や課題など支援について伝えている。引継ぎという形で行うことが多い	・移行支援の必要性が出て来た場合は、情報共有していきます
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	・研修の機会が戻ってきたので、職員の資格等も考慮に入れながら、研修会等に参加しています。	・児童発達支援センターへの入園が決まった子どもたちの引き継ぎを行い、支援の繋がりを作っています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	・今年度は仮事業所での療育ということもあり、地域での交流は困難だった。	・併行通園の子も多いので特に園からの交流はしていません

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	・福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会や療育相談支援事業に参加している	・管理者および児童発達支援管理責任者が参加しています。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	親子通園なので、登園したときに、子どもの様子を把握し、行動などの意味づけを共有できるようにしている。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	0		・家族支援プログラムについては、継続的に研修を行うとともに、保護者については、おしゃべり会等で支援を行っています。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0		・入園説明会で重要事項説明として伝えています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0		・全保護者に向けて、契約時に、療育のねらいや内容等についてできるだけいねいに説明するよう努めます。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	・登園した日には、必ず誰かが個別に声をかけるように努めている。	・保護者の相談については、引き続き、その日に応じられるよう努めます。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	・父母の会などはないが、一クラスが小集団なので、つながりやすい。	・おしゃべり会を通して悩みなどの共有を図り、横の繋がりを作れるようにしています。また、年に1度卒園児の保護者による研修会も行い、子育てへの見通しが持てるようにと考えています。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	・定期的に個別に対応するとともに、保護者の要求に応じて、適宜対応している。また、集団でのおしゃべり会を実施している。	・気軽に相談できる信頼関係を構築しながら、子どもの育ちへの願いや子育ての不安や悩みを受け止められるようにタイムリーに話し合いができるように努めています
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	・月1回園だよりを発行するとともに、ブログを更新して、活動の様子や意図を伝えている。	・療育活動や行事のねらいをたよりで知らせ、保護者の方が見通しをもてるように工夫しています。また、ブログを通して、活動の意図を伝え、共有できるように努めます。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	0	・注意している。特定しやすい情報は伏せている	・取り扱いについては、同意を得てから関係機関と連携していますまた、入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ています。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	ことばのみで伝えるのではなく視覚的な手がかりを用い、理解を確認す	

					るよう努めている。また、必要に応じて個別に対応している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	・今年度は仮事業所のため、地域とのつながりはなかった。	・来年度以降は、地域への発信をすることで理解を得られるよう努めます。また、卒園児の保護者には、託児ボランティアをはじめ、他の行事でもご協力いただきながらつながっていけるよう努めます。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	2	・マニュアルはあるが全ての訓練はしていない ・旧園舎での防火訓練は実施したが、仮園舎では未実施である	・新園舎における防災等についても、マニュアルを作成し、保護者の方々に、いつでも閲覧して頂けるようにしていきます。 ・火災以外の災害についての訓練や、予期せぬ事態の対応など、職員間で共有し合い緊急時にも対応できるように努めます
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	・火災を想定しての避難訓練を実施している。今年度は、1回だった。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	1	・保護者から聞き取りながら、該当の児童に対する対応マニュアルをつくり、職員に周知している。	・服薬や予防接種についても、聞き取りや書面への記入をお願いして、子どもたちの状況把握がしっかり出来るようにしていきます
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	・クッキングの時には、その都度全体に向けて、アレルゲンの有無を確認している。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	・終礼で出し合い共有するようにしている	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	・職員研修を行っている ・身体拘束および不適切な行為などの事例をあげ、職員それぞれの意見を述べ合う機会をつくっている。	・年度はじめに「倫理要綱」の読み合わせなど職員としての心得を確認し、支援姿勢について自ら考える機会にしています。 虐待防止啓発のための研修会に参加し、全職員学習の機会として研修報告を行なっています。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	0	「身体拘束・行動制限についてのガイドライン」で説明している。児童発達支援計画に記載し、保護者に同意を得ている。 ・出入口の施錠は安全のため必要として理解を得ている。	・子どもの状況や場面によっては、安全確保のためにやむを得ず行動や場面を規制することはありますが、その事を丁寧に保護者へ説明していくと共に、個別支援計画にも記載して説明できるように努めます

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。